

【参考（会議欠席者からの評価・意見）】

第2期山北町総合戦略（令和2年度～令和6年度）

山北町まち・ひと・しごと創生推進会議（外部有識者）による評価・意見

総合戦略先駆的事業

1 観光資源活用事業

- 洒水の滝等について、今後どのようにしていくのか将来像がみえない。現状整備だけであり、定期的なイベント（食のイベント）や各観光地との連携があれば、関係人口も増加するのではないかと。
- ここ数年は新型コロナウイルス感染症による移動、行動制限により人の往来が限定されていたが、本年より大幅に緩和される見込みのため、まずは、早期にコロナ前の水準に戻し、その上を目指して更なる力を入れる必要がある。

2 地域公共交通網の形成事業

- 交通利用者数が見込めないため、民間事業では難しい。現在着工している（仮称）山北スマートICなどを活用し、観光客への利便性に焦点をあてるのはどうか。
- 町内の高齢化が更に進んでいる現状を踏まえると、早期の実現が必要。また、公共交通網の充実が移住者へのアピールにもなるため、効果は認められると思う。

3 SDGs推進事業

- バイオマスボイラーや水力発電の取り組みについて、他にもなにか活かせる場所があれば活用していただきたい。また、HPに取組状況等を掲載していただければと思う。
- 町としての取り組みを外部に発信するための素材に使うことができるため、特色ある取り組みを展開するのが良いと思う。

4 D52奇跡の復活事業（第2期）

- 資金、財政的に厳しいものがあるが、話題性は高いためクラウドファンディングで資金を募るのが最善だと考える。
- 鉄道好きな人にとっては非常に興味のある事業となる。また、若者世代にとっては「SL」という存在自体に馴染みがないものなので、どのようにアピールするかがポイントだと思う。

基本目標1 山北町における安定した雇用を創出する

- 企業誘致と並行して企業が山北町に会社を作るメリットをアピールするのはどうか。例えば、IT向けにネット整備や従業員向けの宅地の用意など。
- 企業誘致を行い税収が増加しても住人が増加しない限り改善にはならない。
- 企業誘致の推進及び担い手の発掘については、目標値を達成しており、取組の成果が出ている。

基本目標2 山北町への新しいひとの流れを作る

- 観光面では、観光スポット、グルメ、SNS映えなどで近隣市町村連携しツアーを計画するのも有効ではないか。
- 転居に関して、宅地無償化やインフラ面の整備が必要ではないか。
- 医療費等無償など若い世代が住みやすい取り組みが必要。
- 転入者アンケートの働き世代が半数以上であることから、その特徴を捉えた定住対策を引き続き行っていくことが必要。
- 定住対策課、保険健康課、福祉課と多くの課が連携する項目となっており、各々がフットワーク良く、情報を共有しながら推進できるのは山北町の強みと考えている。
- 新東名高速道路の開通に合わせて山北の魅力を発信できるような準備を進める必要がある。

基本目標3 山北町の若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える

- 公共交通機関が厳しいエリアであり、都会から田舎へ移住する可能性は高いとはいえないため、企業誘致と転居を合わせるなど連携して取り組む必要がある。
- 子育て面での待遇がなければ若い年代の方たちは住みにくいと感じる。
- 周辺自治体と比較しても、山北町の出産、子育て支援は手厚いと思う。ただ、出産に当たり受診する産科病院や出産するための施設が近隣に乏しく、また小児科病院も限られているなど、ハード部分で周辺自治体よりも厳しいものがある。

基本目標4 時代にあった山北町らしい地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する。

- やまきたあんしんメールは、役立つ情報がわかりやすく配信されているため、更にアピールして行ってほしい。
- 人口が少ない分、人と人とのつながりを濃くすることができる。その一方で、今の若者はあまり近所付き合いを好まないというデータがあるため、うまくバランスをとることが必要。

自由意見

- 他の市町村の住人から見た山北町の財産は自然と人のイメージであり、このイメージに新たな戦略を盛り込んでいる山北町総合戦略に期待している。